

RPA試行事例

～地銀におけるRPA導入のポイント～

株式会社百五銀行

事務統括部BPR推進室

諸岡 章弘

平成29年10月26日

目次

1. R P A 試行の背景

P2

2. R P A 試行の検討

P3

3. R P A 試行のポイントと結果

P4

4-1. R P A 試行事例（適用業務の選定）

P5

4-2. R P A 試行事例（適用業務と効果①）

P6

4-3. R P A 試行事例（適用業務と効果②）

P7

5. 今後の取組方針と課題

P8

1. RPA試行の背景

◎ 百五銀行がRPAの試行を検討した背景

➤ 定例業務・本部業務の効率化余地

BPR施策による業務負担軽減（本部集中・事務削減）は進んでいるが、集中部署の大量業務や本部業務など効率化の余地は依然として大きい。

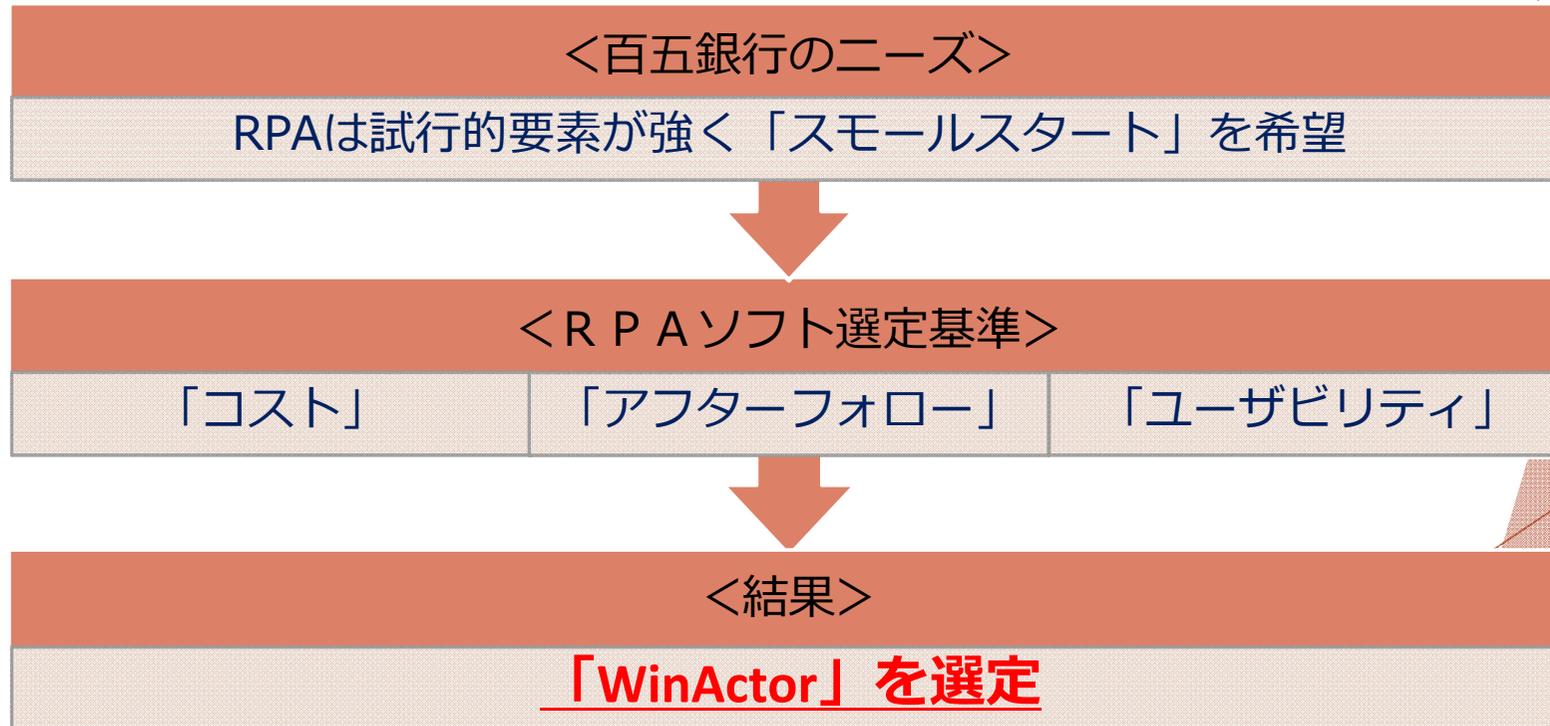
➤ 働き方改革、生産性向上施策

働き方改革および生産性向上の要請も高まり、さらなる業務負担軽減策として、新たな取組みの必要があった。

2. RPA試行の検討

◎ RPA試行の検討～RPAソフト選定まで

➤ RPAソフトの選定



3. RPA試行のポイントと結果

➤ シナリオ作成

- ・ 業務部門の担当者による運用の可否

- ・ コツ（RPA固有の技術）さえつかめば、問題なく可能
- ・ **業務理解力**が重要となる

➤ 適用業務の選定（効果の見極め）

- ・ 大量業務：一部の自動化でも時間創出効果大！
- ・ 定例業務：特定のヒト、時期の偏りを平準化・標準化！

➤ その他

- ・ 自社システム環境下での動作確認など

4-1. RPA試行事例（適用業務の選定）

➤ ① 格付自己査定業務

＜業務選定の着眼点＞

業務の「件数および頻度」

➤ ② 投資信託集計報告業務

＜業務選定の着眼点＞

「特定のヒト・時期に集中」する業務

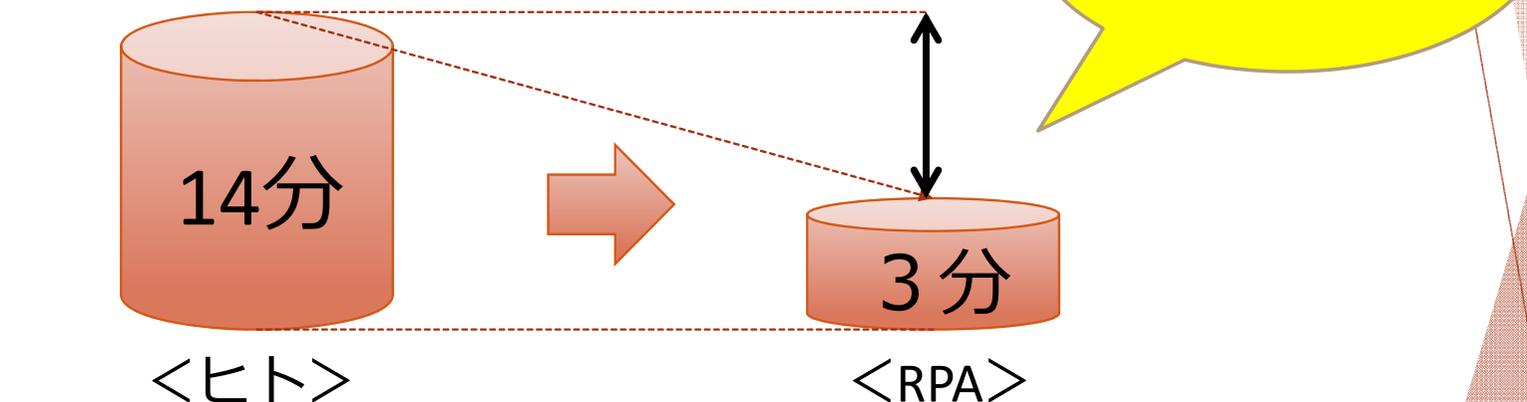
➤ ③ その他

4-2. RPA試行事例（適用業務と効果①）

➤ ①格付自己査定業務（※）

◎効果

- ・ 1件あたりの削減時間



→年間の削減時間

$$11分 \times \text{年間} 7,000 \text{件} = 77,000 \text{分} \quad \underline{\underline{\equiv 1,283 \text{時間}}}$$

- ・ 入力ミス削減による検証負担軽減

※格付自己査定業務全体のうちの一部を自動化対象としています。

4-3. RPA試行事例（適用業務と効果②）

➤ ②投資信託集計報告業務

◎効果

- ・ 時間効果・・・ながら作業1～2日 ⇒ 15分
- ・ **業務の「平準化」と「標準化（見える化）」**

<適用前>



<適用後>



5. 本格展開に向けた取組方針と課題

◎今後の方針と主な課題

➤ 適用業務の拡大

- ・ 各種調査業務
- ・ 社内業績表彰の集計・決算業務 など

➤ 運営体制の確立

- ・ 人員確保と人材育成
- ・ 運用ルールの構築

➤ 効果の具体化

- ・ 捻出した時間の活用方法

⇒ 「人員配置の見直し」 「新たな能力開発」 など

